

弘大と県、弘前市の健康プロジェクト

最高賞の総務大臣賞



最高位の総務大臣賞に輝き表彰状を受け取る中路特任教授（左から2人目）

技術革新による新産業創出や地域課題解決に向けたアイデアあふれる方策などを表彰する第7回「プラチナ大賞」の授賞式が5日、都内で行われ、弘前大学と県、弘前市が取り組む青森健康イノベーション創出プロジェクトに最高賞の総務大臣賞が贈られた。

プラチナ大賞は、全国の首長や企業経営者らで組織するプラチナ構想ネットワークが主催。同日の最終審査発表会には全国の13団体が臨み、各団体のプレ

ゼンテーションを経て大賞と優秀賞を決めた。審査では、弘大が2005年から展開する「岩木健康増進プロジェクト」による延べ2万人の健康情報を基に、産学官民一体で短命県脱出を目指した取り組みが進められ、疾患研究や産業創出につながったことが高く評価された。

の努力が認められたということが評価されたこと「と喜びをかみしめた。また「今回の賞は自治体を中心とした取り組みが重要で、産官学民が連携していることが評価されたことに大きな意味がある。まだまだ道半ばだが、これを励みにしたい」と決意を新たにしている。

(石黒全)